

大飯地域の緊急時対応（概要版） ①原子力災害対策重点区域・広域避難先

1. 大飯地域の原子力災害対策重点区域

- 大飯地域における原子力災害対策重点区域（概ね半径30kmの範囲）の人口は155,236人（平成31年4月現在）。
- PAZ内の人口はおおい町（福井県）726人、小浜市（福井県）258人。
- UPZ内の人口は福井県、京都府及び滋賀県の関係11市町154,252人。



関係府県	PAZ内 (概ね5km)	UPZ内 (概ね5~30km)	合計
	福井県	984人	
京都府	—	82,628人	82,628人
滋賀県	—	497人	497人
合計	984人	154,252人	155,236人

【UPZ市町】
福井県 おおい町、小浜市、高浜町、若狭町、美浜町
京都府 舞鶴市、綾部市、南丹市、京丹波町、京都市
滋賀県 高島市

出典：国土地理院ホームページ（<http://maps.gsi.go.jp/#9/35.795528/136.051941>）
〔白地図〕国土地理院（<http://maps.gsi.go.jp/#1/35.533344/135.689392>）をともに内閣府（原子力防災）作成

3. PAZ及びUPZの関係府県における広域避難先

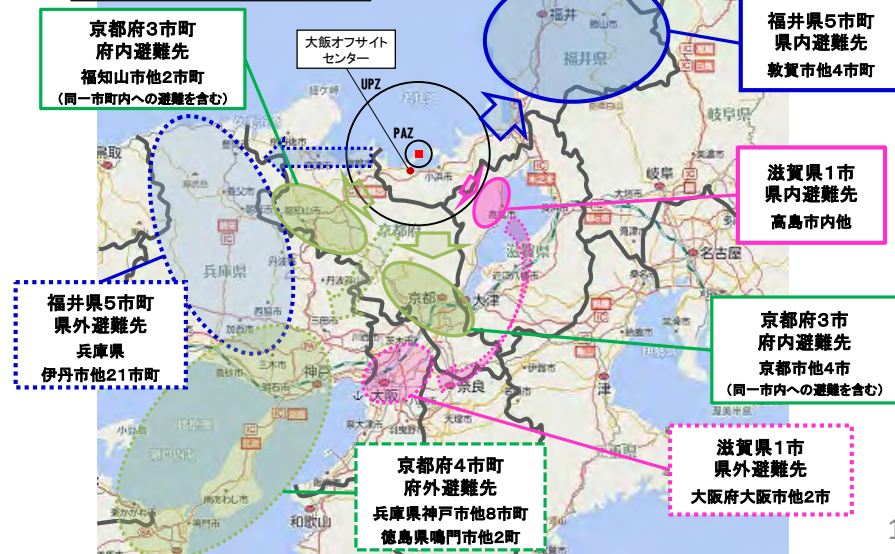
- PAZ、UPZ内の各市町住民の避難先は、府県内外で複数確保。
- 府県を越える避難が必要な場合、避難元府県からの受入れ要請に基づき、避難計画で示された兵庫県、徳島県及び大阪府の避難先で受入れを行う。
- 福井県及び滋賀県は県内避難を基本とする。京都府は避難先の準備状況、避難先までの道路状況の他、気象庁から提供される気象情報などを考慮して避難先を決定する。

PAZ内市町の広域避難先

PAZ内人口		避難元	県外避難先施設
おおい町	大島地区	726人	兵庫県川西市 加茂小学校（他3施設）
小浜市	内外海地区 （泊、堅海）	258人	兵庫県姫路市 好古学園大学校
合計	984人		

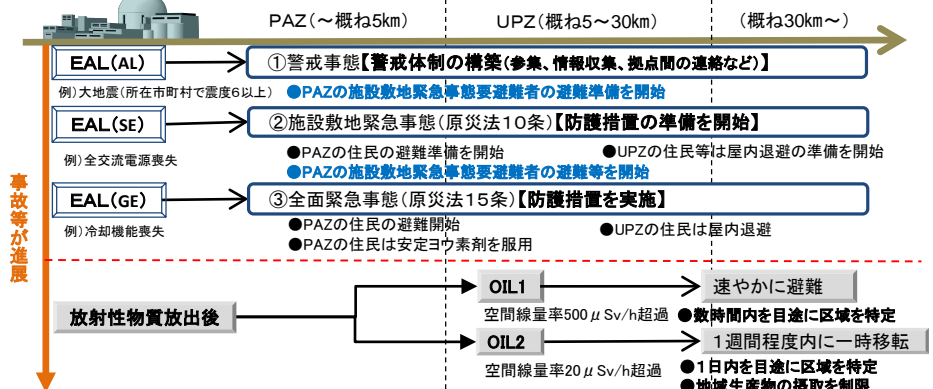


UPZ内市町の広域避難先



2. 原子力災害対策指針における緊急事態の防護措置の考え方

- 緊急事態の初期段階は原子力施設の状況等の進捗で、放射性物質放出後は緊急時モニタリングの結果に基づいて防護措置を実施。
- (1) EAL(Emergency Action Level)による初期対応段階における防護措置
原子力施設の状況等に基づく緊急事態区分を導入し、その区分を判断する基準(EAL)を設定。
EALに基づき、施設敷地緊急事態要避難者は早期の避難等の防護措置を実施。
※PAZの施設敷地緊急事態要避難者の避難は、通常以上の時間がかかるため、EAL(SE)の段階から避難を開始する。
ただし、避難により健康リスクが高まるおそれのある者は、速い効果の高い建物等に屋内退避する。
- (2) 緊急時モニタリングの実施/OIL(Operational Intervention Level)に基づく判断
国はEAL(SE)の段階で緊急時モニタリングセンターを立ち上げる。放射性物質放出後、モニタリング結果と防護措置の実施基準(OIL)に基づき、PAZ外の住民の防護措置を判断する。



大飯地域の緊急時対応（概要版） ②PAZにおける避難・屋内退避の考え方

区域	種別 ※1	対象者数	避難等の流れ			備考
			警戒事態	施設敷地緊急事態	全面緊急事態	
PAZ (発電所から概ね5km圏内)	施設敷地緊急事態(原災法10条)で避難開始 避難行動要支援者(在宅)	おい町 58人 小浜市 6人 合計 64人	施設敷地緊急事態の避難準備を開始	<p>＜避難可能な者：41人＞ 支援者とともに徒歩、車両で避難(おい町41人、小浜市0人)</p> <p>バス2台(おい町2台、小浜市0台)により避難</p> <p>一時集合場所(おい町内2か所、小浜市内1か所)</p> <p>支援者の車両で避難</p> <p>＜無理に避難すると健康リスクが高まる者：23人＞ (おい町17人、小浜市6人)</p> <p>福祉車両14台で避難(おい町11台、小浜市3台)</p>	<p>福祉避難所 敦賀市 福祉総合センター「あいあいプラザ」</p> <p>放射線防護施設※2 (おい町PAZ内2施設、小浜市PAZ内1施設)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者は、指定された福祉避難所へ避難。 無理に避難すると健康リスクが高まる避難行動要支援者は、近隣の放射線防護施設へ移動。輸送等の準備完了後、避難を実施
	避難行動要支援者(学校・子ども園)	おい町 108人 小浜市(対象施設無し) 合計 108人	保護者引き渡し開始	<p>＜保護者へ引き渡しができなかった児童等＞</p> <p>対象施設(おい町(2施設：108人))</p> <p>バス4台により避難</p>	<p>おい町避難先 (県内避難先：敦賀市立栗野中学校 県外避難先：兵庫県川西市立桜が丘小学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校・子ども園の児童等は、警戒事態になった時点で授業・保育を中止し、保護者へ引き渡す。 保護者へ引き渡しができない児童等は、施設敷地緊急事態になった時点で避難を行い、避難先で保護者に引き渡す。
	その他の施設敷地緊急事態要避難者(妊婦・授乳婦・乳幼児・乳幼児の保護者等)	おい町 146人 小浜市 46人 合計 192人	避難準備を開始	<p>＜おい町から避難する者＞</p> <p>対象者(おい町：146人、小浜市：46人)</p> <p>一時集合場所(おい町内2か所) バス4台により避難</p> <p>＜小浜市から避難する者＞</p> <p>一時集合場所(小浜市内1か所) バス2台により避難</p>	<p>おい町避難先 (県内避難先：敦賀市立栗野中学校 県外避難先：兵庫県川西市加茂小学校他3施設)</p> <p>小浜市避難先 (県内避難先：越前市福井県立武生商業高等学校 県外避難先：兵庫県姫路市好古学園大学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦・授乳婦・乳幼児等の避難に時間を要する者は、施設敷地緊急事態で避難を開始。
(原災法15条)で避難開始 全面緊急事態 一般住民※3	おい町 726人 小浜市 258人 合計 984人	一般住民の避難準備を開始	<p>＜おい町から避難する者＞</p> <p>対象者(おい町：726人、小浜市：258人)</p> <p>自家車で避難(645人)</p> <p>徒歩等で移動(81人)</p> <p>一時集合場所(おい町内2か所) バス2台により避難</p> <p>＜小浜市から避難する者＞</p> <p>自家車で避難(231人)</p> <p>一時集合場所(小浜市内1か所) バス1台により避難</p> <p>徒歩等で移動(27人)</p>	<p>おい町避難先 (県内避難先：敦賀市立栗野中学校 県外避難先：兵庫県川西市加茂小学校他3施設)</p> <p>小浜市避難先 (県内避難先：越前市福井県立武生商業高等学校 県外避難先：兵庫県姫路市好古学園大学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 住民はあらかじめ定められた避難所へ避難。 自家車を利用可能な者は自家車で避難。自家車が利用できない者は、福井県嶺南地方のバス会社等が保有する車両で避難。 	

※1 PAZ内に医療機関、社会福祉施設はなし。 ※3 一般住民の対象者数は、PAZ内住民の人口。

区域	種別	対象者数	屋内退避 / 一時移転等の流れ			備考
			警戒事態	施設敷地緊急事態	全面緊急事態	
UPZ (発電所から概ね5~30km圏内)	避難行動要支援者 (医療機関)	福井県 833人 京都府 979人 滋賀県 (対象施設なし) 合計1,812人				<ul style="list-style-type: none"> 施設毎の避難計画は策定済み。 福井県では、避難元施設ごとに受入施設を事前設定。 京都府では、「京都府災害時要配慮者避難支援センター」が受入施設を調整・確保。
	避難行動要支援者 (社会福祉施設)	福井県 1,275人 京都府 1,299人 滋賀県 390人 合計2,964人				<ul style="list-style-type: none"> 福井県では、避難元施設ごとに受入施設を事前設定。 京都府では、「京都府災害時要配慮者避難支援センター」が受入施設を調整・確保。 滋賀県では、滋賀県の調整により受入施設を確保。
	避難行動要支援者 (在宅)	福井県 3,514人 京都府 5,221人 滋賀県 49人 合計8,784人				<ul style="list-style-type: none"> 一時移転等が必要となった避難行動要支援者は、関係市町が準備した避難先に一時移転等を行う。 なお、介護ベッド等が必要な在宅の避難行動要支援者は、福井県においては、関係機関と調整し福祉避難所等を確保。京都府においては、「京都府災害時要配慮者避難支援センター」が福祉避難所等を確保。滋賀県は、避難先に設置している福祉避難コーナーを利用。
	避難行動要支援者 (学校・保育所・幼稚園等)	福井県 10,364人 京都府 12,310人 滋賀県 4人 合計22,678人	対象施設 (152施設)			<ul style="list-style-type: none"> 警戒事態になった時点で授業・保育を中止し、保護者への引き渡しを開始。 保護者へ引き渡しができない児童等は、全面緊急事態になった時点で屋内退避を行い、その後、一時移転等の指示に基づき避難先へ避難し、保護者に引き渡す。
	一般住民※2	福井県 71,127人 京都府 82,628人 滋賀県 497人 合計154,252人	保護者引き渡し開始			<ul style="list-style-type: none"> 事前に設定している避難先へ一時移転等を実施。 自家用車や関係府県等が準備したバス等により避難。

※1 OIL基準に基づく避難等や一時移転のこと。
 ※2 一般住民の対象者数は、UPZ内住民の人口。

福井県、京都府及び滋賀県が、それぞれの府県内のバス会社等から必要となる輸送手段を調達。不足する場合は、関西広域連合及び政府の支援の下、隣接府県等から輸送手段を調達。

